

## 最優秀賞

ふれあい賞

### わたしたちのことを

横浜市立葛野小学校（泉区）

三年 北澤 穂乃香

私は、しょう動をがまんできないというしょうがいがあるようです。これからけんさするので、かく実とは言えません。そう思われています。でもそう思われるのがきらいです。きつとしょうがいのある人たちの中には、そう思っている人がたくさんいると思います。

『みんなとちがう。』それがいやなのです。

私はがまんできなくて、じゅぎょう中に、よくしゃべってしまいます。その事を母に何度も、「やっては、いけないよ。」

と言われています。だから、やめようと一度は決心するのですが、どうしてもやめられません。時には自作の歌を歌うこともあります。

私は、母にがまんができないのは発たつしようがないのかのうせいが高いから病院に行こうと言われました。自分でもそうだなと思いましたが、それがとてもいやで、

「ちがう！」

と、言いはりました。でも、私は今でもがまんができません。

ですが、そういう人を仲間外れにはしないでほしいのです。みんなと同じようにあつかってほしいのです。私のがまんできるように少しずつ努力しようと書いている今あらためて思いました。

私たちもたくさん努力します。だから、そういう人たちがきらいな人も、私たちを見ていい所もあるのかな、と想ってほしいです。

すきになってください。

みんなとちがうのもいいなと思ってください。

それがふくしの心だと思えます。

私たちや、みんなとちがう人たちのことをおうえんしてください。

私たちががんばります。だから、

「おねがいします」